



## 「JANS 若手の会」

### 1. 目的

研究活動に関わる情報や意見の発信・交換により、若手研究者同士の相互交流を促進し、若手研究者の活動基盤をつくる媒体として活用することを目的としています。

### 2. 対象

原則として、45歳未満または博士の学位取得後10年程度以内の若手研究者を対象としています（もちろん、この条件に該当しない方でも、希望者は受け付けています）。随時、登録および登録解除希望を受け付けています。

### 3. 登録の手順

メールに以下①②③を入力してお送り下さい。

①宛先：wakate.info@gmail.com

②件名：「JANS-Wakate ML 登録依頼」

③本文：ご氏名、主なご所属、所在地、職位・課程等、MLで送受信に使用されるメールアドレス

MLコーディネータより、登録完了のお知らせと、MLの使用方法をお送りします。

**\* 登録は随時受け付けております**

「多分野、多エリアでの研修会・勉強会の案内があることで、学ぶ機会が得られている」との声が寄せられています。多くの皆様からの情報発信をお待ちしております！

## 日本看護科学学会 若手研究推進委員会

西村 コミ（首都大学東京大学院）

大久保暢子（聖路加国際大学）

坂井 志織（首都大学東京）

坂梨 左織（福岡大学）

長谷川直人（自治医科大学）

丸尾 智実（甲南女子大学）

水田 明子（浜松医科大学）

水野恵理子（山梨大学大学院）

綿貫 成明（国立看護大学校）

「若手の会」を活用して、ネットワークを作りませんか？

MLで研究会や学会にメンバーを誘う、共同研究者の募集、エリアごとの若手オフ会の企画など、活用方法は自由です！

若手の会についてのお問い合わせ・ご意見は、

### JANS 若手の会

wakate.info@gmail.com までお気軽にどうぞ。

## JANS 若手の声

交流集会やメーリングリストなどで、寄せられた声です。



- 「JANS からのメールをみて、若手の活動はとても大事な発想だと思いました。すぐにメーリスに登録しました！」
- 「日々、仕事と研究と家庭の両立で悩んでいました。このようなネットワークで若手同士が繋がるのを待っていました。」
- 「自分のネットワークは、現在の職場や大学院に限られるので、その壁を越えて、近隣・全国の仲間と勉強会などの情報を気軽に共有したり、研究を切磋琢磨するアイデアを出しあったりするチャンスを作りたいと思います。」
- 「研究会情報など、大学院を修了したあとに学べる環境や、情報がなく困っていたので、メーリスでの情報はとても助かっています。近くで開催されるものには、すぐに申し込んでいます。」

“若手の声”からは、このような活動や、若手研究者同士が自由につながっていきける拠点が必要とされていたことが伺えます。若手研究者がのびのびと活動・活躍し、日本の看護学を発展させられるように、一緒に創造していきましょう！



## JANS 若手の会

若手の活動を  
若手みずから作っていきましょう！



第36回日本看護科学学会学術集会 若手サロン

## 組織概要

「JANS 若手の会」は、日本看護科学学会（JANS）の「若手研究推進委員会」を母体として活動が運営されています。

若手研究者が自立・自律して研究活動に取り組むための基盤作りを目指し、会員相互の交流、他分野・領域との交流、学際的交流、国際交流を企画運営しています。

さらには、20年・30年先の看護学の発展への貢献を掲げ、学術的課題、社会的課題が確認された際には、JANS 及び社会に向けて多様な提言を行い、医療・看護に対する社会的責任の一翼を担える人材作りをしています。

## これまでの主な活動

### 【若手メーリングリストでの情報発信】

若手の有機的な連携を作るために、様々な分野やエリアでの研究会や学会情報などを発信

### 【学術集会 交流集会】

「未来の創造・想像」「研究シーズを見つけ育てる」「キャリアデザインを描く」「社会の歩みに繋げる」などをテーマとした交流集会を2013年から毎年開催

### 【JANS 若手の会 オフ会】

2014年から、学術集会期間中に毎年開催

### 【学術集会 若手サロン】

2016年から、学術集会期間中に毎年開催

### 【研修/セミナー】

若手ステップアップ研修・JANS セミナー  
「査読対応」や「統計学の基礎」などに関する研修  
2016年から毎年開催

## 今後の活動計画

1. 学術会議若手アカデミー委員会のメンバーとなり、国内外の多様な学問分野における若手研究者との積極的な交流を図ります。
2. 学術集会の交流集会（あるいはワークショップ）を定期的に企画・運営して、若手の研究活動を促進していきます。
3. メーリングリストを介して、日常的な情報交換、相互交流を促し、若手の輪を作ります。また、活動に対する意見を皆さんから集めて、議論を行っていきます。
4. ホームページの運営を通して活動を広げていきます。また、会員参加型の情報発信により互助・共助の関係をつくるためのツールとしていきます。
5. 若手研究者対象のニーズ調査に基づいた研修を企画・運営し、看護の研究や活動、実践を広く社会に伝達して、JANS に所属する若手研究者の研鑽・ネットワーク構築・意欲向上を支援する機能をつくります。
6. 日本看護科学学会誌に JANS 若手研究推進委員会からの、年間の活動報告、および看護学に関する学術情報や知見の発信を掲載します。
7. 各地域で「若手の会」の活動を牽引する「エリア・コーディネーター」を育成し、若手研究者が各地域で活躍できる基盤をつくります。



第36回日本看護科学学会学術集会 若手ステップアップ研修



第9回 JANS セミナー「看護研究に生かす統計学の基本」

## 未来の看護界について描いている夢

第36回学術集会若手サロン『若手の樹』の企画では、若手研究者から多くの声が寄せられました。多様でユニークな声を5つのBranchにまとめました。

### 【Branch1：研究】

- ・他領域/実践と研究/臨床と大学のコラボレーション
- ・“当たり前・仕方ない”とされる事柄を覆す看護独自の研究
- ・“患者・実践に役立つ”“一般の人にわかる”研究
- ・領域・臨床・学問分野の垣根のない自由な交流や研究活動

### 【Branch2：臨床】

- ・臨床看護師が臨床と研究を自由に行き来できる環境の実現
- ・患者が心身ともに元気でいられる看護の質・水準の向上
- ・専門/認定看護師が広く認知され病院/施設の選択基準となる
- ・「丁寧にと向き合う」「患者家族に寄り添う」看護師

### 【Branch3：教育】

- ・自分で考えられる/根拠をもった意見が言える看護師の育成
- ・大学がスタンダード/大学院修了が当たり前となる看護教育



### 【Branch4：看護に携わる‘人’として】

- ・教育/研究/実践力と目標をもって一生働き続けられる
- ・自立した研究者/臨床との架け橋/国際的活動など  
‘看護師+α’の実現
- ・負い目を感じず自由に仕事ができるワークライフバランス

### 【Branch5：×看護】

- ・看護×社会：看護の役割を示す/人々の期待に応えられる/安心して病む・老いることができる社会を看護から作る/他分野や社会全体から看護が認められる未来の実現
- ・看護×看護：看護の本質を大事にし続ける職能/若手の意見が反映される柔軟な組織/性別に関わらず活躍できる環境/看護の地域格差をなくす/世界中の看護師が知を共有できる